



東京臨海臨港道路南北線(東京都)



北海道縦貫自動車道 大沼トンネル避難坑(北海道)



三遠南信自動車道天龍峡大橋(仮称)(長野県)



国道2号淀川大橋修繕(大阪府)



大分川ダム(大分県)



室津港防波堤(高知県)

つよく、あたらしく、かっこよく "Resilient" "Innovative" "Smart"

令和元年度

国土交通省

国土技術研究会

2019年
11/7 木・8 金

会場：中央合同庁舎2号館、3号館
東京都千代田区霞ヶ関2-1-2、2-1-3

【参加費無料 事前申込受付中～11/4（月）17時まで】

※特別講演会場には収容人数に限りがあります。状況に応じて入場制限をさせて頂く場合があります。
事前参加申込の手続きは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

課題論文、プログラム詳細はホームページに掲載しております。最新情報については、ホームページをご覧ください。

津軽ダム(青森県)

【プログラム】

7日

- 自由課題
一般部門（安全・安心、活力）
イノベーション部門
- ポスターセッション（技術センター展示を併設）
- 国土技術開発賞受賞技術報告

8日

- 自由課題
アカウンタビリティ部門
- 指定課題
- ポスターセッション（技術センター展示を併設）
- 建設技術研究開発助成制度成果報告
- 特別講演
- 表彰式

土木学会認定
CPDプログラム

主催：国土交通省

特別講演『計算社会科学でリスク社会に挑む～社会問題をセクシーに解決するために』

【日時】令和元11月8日(金)14:00～15:00 【会場】中央合同庁舎3号館10階



東京大学大学院 准教授
/計算社会学者

鳥海 不二夫

【プロフィール】

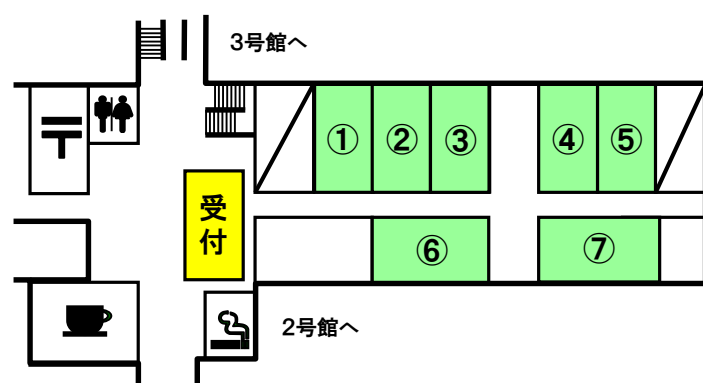
2004年
東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム工学専攻博士課程修(博士(工学))
2004年
名古屋大学情報科学研究科助手, 2007年同助教
2012年
東京大学大学院工学系研究科准教授

計算社会科学, 人工知能技術の社会応用などの研究に従事。情報法制研究所理事。
人工知能学会, 電子情報通信学会, 情報処理学会, 日本社会情報学会, AAAI各会員,
科学技術への顕著な貢献2018 (ナイスステップな研究者)。

会場案内

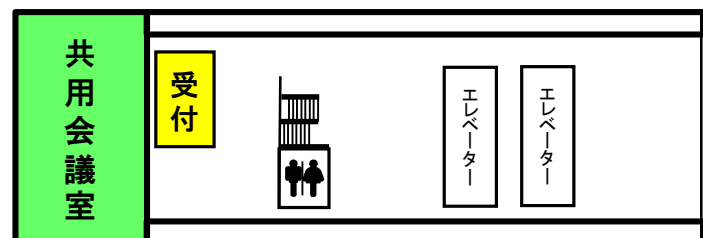
■特別講演は、中央合同庁舎3号館10階で行います。収容人数の関係上、事前参加申込を実施致します。

11月7日(木)、8日(金)AM 於:2号館低層棟会議室



	11月7日(木)AM	11月7日(木)PM	11月8日(金)AM
①	安全・安心Ⅰ	(左に同じ)	建設技術研究開発助成制度
②	安全・安心Ⅱ	(左に同じ)	指定課題Ⅰ
③	活力	(左に同じ)	指定課題Ⅱ
④	国土技術開発賞Ⅰ	イノベーションⅠ	アカウンタビリティ
⑤	国土技術開発賞Ⅱ	イノベーションⅡ	
⑥	ポスターセッションⅠ	(左に同じ)	(左に同じ)
⑦	ポスターセッションⅡ 技術センター展示	(左に同じ)	(左に同じ)

11月8日(金)PM @ 3号館10階共用会議室



<3号館10階へお越し頂く際の注意事項>

- ・10階に止まるエレベーターは限りがあります。
- ・多くの方が一斉に移動することが想定されますので、時間に余裕をもって移動頂きますようお願いいたします。
- ・特別講演は収容人数の関係上、入場を制限する可能性があります。

プログラム

11月7日(木) 10:00 受付開始

自由課題 一般部門 イノベーション部門	国土技術開発賞 受賞技術報告	ポスター セッション
10:40 一般部門 <安全・安心Ⅰ> 4課題 <安全・安心Ⅱ> 4課題 <活力> 4課題 12:00 休 憩 13:00 (一般部門13:20～) 一般部門 <安全・安心Ⅰ> 9課題 <安全・安心Ⅱ> 9課題 <活力> 10課題 イノベーション部門Ⅰ 10課題 イノベーション部門Ⅱ 11課題 17:00	10:40 国土技術 開発賞受賞 技術 6課題 11:30	11:00 展示数 14課題 技術センター 展示を併設 コアタイム 11:50～13:30

11月8日(金) 9:30 受付開始

自由課題 アカウンタビリティ部門	指定課題	建設技術研究開発 助成制度成果報告	ポスター セッション
10:00 アカウンタビリティ部門 10課題	10:00 指定課題 5課題	10:00 策課題解決型 16課題	10:00 展示数 14課題 技術センター 展示を併設
12:10	12:20	12:20	12:20
特別講演 (中央合同庁舎 3号館10階)【受付13:30～】			
14:00～15:00 鳥海 不二夫氏 (東京大学)			
表彰式(中央合同庁舎 3号館10階)			
15:10～16:00 表彰式・講評			

内容・会場等については、変更する場合があります。最新情報は、ホームページをご覧ください。(http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html)

【問い合わせ先】国土交通省 TEL 03-5253-8111 大臣官房 技術調査課(内線22305) 総合政策局 技術政策課(内線25634)

自由課題(一般部門) <安全・安心Ⅰ>

11月7日(木) 10:40～16:40

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 11:00	中小河川を対象とした洪水予測システムの開発	国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター 水災害研究グループ	伊藤 弘之
2	11:00 ～ 11:20	大垂壁付き伝統木造軸組架構の静的加力実験と崩壊形推定式の提案	国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ	大村 早紀
3	11:20 ～ 11:40	一眼レフカメラ等を活用した迅速な被災状況把握に向けた取組	国土地理院 基本図情報部 地図情報技術開発室	片山 理佐子
4	11:40 ～ 12:00	降雨の浸透による釧路川の堤防被災要因の検討	北海道開発局 帯広開発建設部 治水課	川岸 秀敏
—	12:00 ～ 13:20	休憩(80分)		
5	13:20 ～ 13:40	除雪機械の故障傾向に関する分析	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 技術開発調整監付 寒地機械技術チーム	伊藤 義和
6	13:40 ～ 14:00	渡良瀬川流域における小中学校の空き教室を活用した草の根防災減災教育支援プロジェクト	関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 調査課	亀井 めぐみ
7	14:00 ～ 14:20	TEC-FORCE活動報告と得た知見について～若手職員の自己啓発～	東北地方整備局 能代河川国道事務所 工務第二課	藤田 怜
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	2016年出水後の十勝川における流路変動および側岸侵食について	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 寒地河川チーム	川村 里実
9	14:50 ～ 15:10	地震を受けた木造住宅の継続使用性の評価	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ	山崎 義弘
10	15:10 ～ 15:30	大スパン屋根の耐風安全性に関する一考察	国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ	高舘 祐貴
11	15:30 ～ 15:50	「命を守る」小中学生を対象とした水防災教育プログラムの作成支援	北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 調査設計課	藤ノ木 沙良
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	北海道胆振東部地震による斜面崩壊土砂に起因した河川の濁水発生状況および農業取水のリスク管理	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ 水利基盤チーム	田中 健二
13	16:20 ～ 16:40	埼玉県道路メンテナンス会議の取り組み	関東地方整備局 大宮国道事務所	中山 雄一

自由課題(一般部門) <安全・安心Ⅱ>

11月7日(木) 10:40～16:40

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 11:00	アーチリブ取替による吾妻橋の長寿命化 ～歴史的建造物を次世代へ継承～	東京都 建設局 第六建設事務所	大森 祐介
2	11:00 ～ 11:20	平成30年2月豪雪を踏まえた取り組みについて	近畿地方整備局 福井河川国道事務所 敦賀国道維持出張所	田中 幹
3	11:20 ～ 11:40	赤谷川流域における直轄砂防事業について～1日でも早い砂防設備の完成に向けて～	九州地方整備局 筑後川河川事務所 九州北部豪雨復興出張所	福岡 薫
4	11:40 ～ 12:00	コンクリートにおける表面被覆材の塩害防止効果	沖縄総合事務所 那覇港湾・空港整備事務所 技術調査室	富田 和之
—	12:00 ～ 13:20	休憩(80分)		
5	13:20 ～ 13:40	庄内川の大規模浸水発生時における迅速かつ効率的な排水活動の支援ツール構築について	中部地方整備局 庄内川河川事務所 調査課	白石 はつみ
6	13:40 ～ 14:00	大野木志賀谷長浜線(長岡BP)信号交差点へのラウンドアバウト導入検討	近畿地方整備局 道路部 道路計画第一課	上月 真人
7	14:00 ～ 14:20	矢木沢ダムにおける劣化コンクリートの補修事例	独立行政法人水資源機構 沼田総合管理所 管理課	山本 晃世
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	没水堤及び一部が水没した岸壁上での波の分裂・遡上実験とその再現計算	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋研究領域 波浪研究グループ	濱野 有貴
9	14:50 ～ 15:10	平成30年7月豪雨災害時の交通マネジメントについて	中国地方整備局 道路部 道路計画課	加藤 大騎
10	15:10 ～ 15:30	阪神大水害から80年の取り組みについて～個人の記憶を社会の記憶に～	近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課	近藤 浩明
11	15:30 ～ 15:50	土砂災害初動調査のための新たなSAR画像活用法の提案	国土技術政策総合研究所土砂災害研究部土砂災害研究室	鈴木 大和
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	平成30年7月豪雨による肱川阿蔵箇所でのパイピング被災状況とメカニズムの一考察	四国地方整備局 大洲河川国道事務所 工務第一課	松山 海人
13	16:20 ～ 16:40	新潟国道事務所版橋梁補修要領(案)について	北陸地方整備局 新潟国道事務所 管理第二課	木村 梨琴

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 11:00	ICT浚渫工(港湾)の推進に向けた底泥特性を踏まえた音響測深結果に関する検討	国土技術政策総合研究所港湾研究部港湾施工システム・保全研究室	坂田 憲治
2	11:00 ～ 11:20	GISを活用した外国人ドライブ観光客の動向等分析 ～世界水準の魅力ある観光地域づくりに向けて～	北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課	笹田 一徳
3	11:20 ～ 11:40	道路機械設備の効率的なメンテナンスに向けて～新たな維持管理手法の提案～	中部地方整備局 名古屋国道事務所 工務課	松尾 久美子
4	11:40 ～ 12:00	野洲川自然再生事業の地域連携から育む河川管理について	近畿地方整備局 河川部 河川環境課	古賀 裕英
—	12:00 ～ 13:20	休憩(80分)		
5	13:20 ～ 13:40	既設プレキャストアーチカルバートの耐震性能評価と補強方法に関する検討	国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ	野田 翼
6	13:40 ～ 14:00	地域観光と連携したインフラツアーの実施と今後の課題	東北地方整備局 新庄河川事務所 寒河江川砂防出張所	北 沢子
7	14:00 ～ 14:20	播但連絡道路の料金施策を通じた交流促進～観光交流による地域活性化～	兵庫県 県土整備部土木局高速道路推進室	山根 彬寛
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
8	14:30 ～ 14:50	郊外部の無電柱化に向けたトレンチャー活用に関する施工試験	国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 技術開発調整監付 寒地機械技術チーム	大竹 まどか
9	14:50 ～ 15:10	地元自治体・都民との協働のあり方 ー井の頭公園アートマーケットの成果と継承ー	東京都西部公園緑地事務所 管理課	宮崎 猛 柳 久美
10	15:10 ～ 15:30	大橋川改修に係る環境保全措置について	中国地方整備局 出雲河川事務所 工務課	明田 想平
11	15:30 ～ 15:50	車線運用に着目した国道32号はりまや橋交差点周辺の渋滞対策検討	四国地方整備局 土佐国道事務所 計画課	岡安 光太郎
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
12	16:00 ～ 16:20	RC造建築物の長期耐久性に及ぼす仕上材料の影響 ー屋外曝露したコンクリートの水分状態ー	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ	中田 清史
13	16:20 ～ 16:40	「やまこし復興交流館おらたる」を拠点とした自動運転サービス実証実験について	北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課	田中 周弥
14	16:40 ～ 17:00	中小河川の災害復旧における地域合意形成について～模型実験等を活用した復旧河道の見える化～	九州地方整備局 筑後川河川事務所 九州北部豪雨復興出張所	上杉 幸輔

自由課題(イノベーション部門Ⅰ)

11月7日(木) 13:00～17:00

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	13:00 ～ 13:20	点群データの取得条件と検知可能なポットホールの規模との関係の基礎分析	国土技術政策総合研究所社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室	糸氏 敏郎
2	13:20 ～ 13:40	積雪寒冷地の公共建築物におけるZEBの推進について ～積雪寒冷地のZEBの実現を目指して～	北海道開発局 営繕部 保全指導・監督室	杉田 瑞季
3	13:40 ～ 14:00	除雪機械の下回り塗装の試行について	東北地方整備局 秋田河川国道事務所 防災課 東北地方整備局 青森河川国道事務所 防災課	泉 実 落合 信孝
4	14:00 ～ 14:20	新たなICT施工の取組 ～MCツインヘッダによる軟岩・中硬岩の法面整形について～	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 輪島国道出張所	岩間 亮友
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
5	14:30 ～ 14:50	デジタル技術を活用した各種効率化に関する開発研究	国土技術政策総合研究所住宅研究部 住宅ストック高度化研究室	三島 直生
6	14:50 ～ 15:10	ICT活用工種の拡大に向けてー構造物設置にICT技術を取り入れた試験的施工ー	茨城県 水戸土木事務所	岡本 佳洋
7	15:10 ～ 15:30	由比地すべり対策事業におけるCIMの取り組みについて	中部地方整備局 富士砂防事務所 地すべり対策課	小松 良行
8	15:30 ～ 15:50	水圧変動下での鋼管矢板による大水深締切について	近畿地方整備局 浪速国道事務所 工務課	加藤 達也
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
9	16:00 ～ 16:20	無人化施工へのHMDの活用について	国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所 技術推進本部 先端技術チーム	橋本 毅
10	16:20 ～ 16:40	自分で地図をデザインできるウェブ地図「地理院地図Vector(仮称)」の開発	国土地理院 地理空間情報部 情報普及課	茂木 宏仁
11	16:40 ～ 17:00	下水道施設における送風機の気象データ補正制御の導入と運用	横浜市 環境創造局 栄水再生センター	亀村 裕之

自由課題(イノベーション部門Ⅱ)

11月7日(木) 13:00～16:40

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	13:00 ～ 13:20	既設CCTVカメラを活用した逆走・誤進入検知システムの開発	中部地方整備局 道路部 交通対策課	鈴木 季弘
2	13:20 ～ 13:40	航空レーザを使用した防災点検手法の検討について	中国地方整備局 岡山国道事務所 管理第二課	新倉 功也
3	13:40 ～ 14:00	BIM/CIMの活用報告(小祿道路橋梁詳細設計)について	沖縄総合事務局 南部国道事務所 調査課	原田 圭大
4	14:00 ～ 14:20	ASRIにより劣化したPC構造物の調査と対策	本州四国連絡高速道路株式会社 しまなみ尾道管理センター 橋梁維持課	金田 泰明
—	14:20 ～ 14:30	休憩(10分)		
5	14:30 ～ 14:50	フレックス工期を活用した工事の円滑な施工～ 名2環 PC床版工事 ～	中部地方整備局 愛知国道事務所 工務課	古田 智菜実
6	14:50 ～ 15:10	日下川新規放水路におけるコスト縮減方策と事業進捗(中間報告)	四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務課	穴山 光太
7	15:10 ～ 15:30	ロックフィルダムの盛立工における挑戦 -ICT施工の全面展開-	独立行政法人水資源機構 朝倉総合事業所 ダム工事課	福島 雅人
8	15:30 ～ 15:50	ICTを活用した職員支援システムの導入効果とさらなる利活用	独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所	中嶋 恵美
—	15:50 ～ 16:00	休憩(10分)		
9	16:00 ～ 16:20	熊本地震により被災した大切畑大橋の復旧について	九州地方整備局 熊本復興事務所 工務第二課	岩下 光司朗
10	16:20 ～ 16:40	3次元モデルを活用した維持管理への取り組み	中日本高速道路 東京支社 環境・技術管理部 環境・技術課 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社 経営企画部 経営企画課 中日本高速道路 技術・建設本部 環境・技術企画部 技術企画・開発課	前田 憲治 谷野 知伸 西岡 幹雄

自由課題(アカウントビリティ部門)

11月8日(金) 10:00～12:10

NO		課題名	所属	発表者
グループ①	1	十勝地域におけるサイクルツーリズム促進に向けた取り組みについて -「トカプチ400」に関する地域協働型の取り組み事例-	北海道開発局 帯広開発建設部 道路計画課	気田 堅実
	2	住民意見を反映した二子玉川地区における無堤部対策について	関東地方整備局 京浜河川事務所 調査課	勝見 圭佑
	3	伊賀市役所新庁舎移転に伴う名阪国道ICの渋滞回避に向けた取り組み	中部地方整備局 北勢国道事務所 管理課	白井 隼斗
	4	成年後見人を市町村長からの申立てにより選任し契約締結に至った事例	近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川環境課	吉田 楓
	5	北部国道管内における自転車道整備状況と今後の対応について	沖縄総合事務局 北部国道事務所 管理第二課	津田 浩希
グループ②	6	「建設業の魅力」を伝える広報の取り組み	福島県 土木部	吉田 憲弘
	7	万代島ルート線における広報事例の報告	北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課	横山 朋弘
	8	「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく太田川流域における防災教育の取組	中国地方整備局 太田川河川事務所 調査設計課	中野 光隆
	9	洪水からの逃げ方を考えようーマイ・タイムラインの取組事例紹介ー	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課	山崎 久美子
	10	平成30年7月豪雨(西日本豪雨)での広報対応について	九州地方整備局 北九州国道事務所 計画課	山本 千春

指定課題Ⅰ

11月8日(金) 10:00～12:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:00 ～ 10:40	気候変動下の都市における戦略的水害リスク低減手法の開発	国土技術政策総合研究所 河川研究部	服部 敦
2	10:50 ～ 11:30	港湾コンクリート構造物の維持管理の高度化を目指して	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造研究グループ	田中 豊
3	11:40 ～ 12:20	AIによる画像認識技術等を活用した道路・河川管理の高度化	国土交通省 大臣官房技術調査課電気通信室	外山 喜彦

指定課題Ⅱ

11月8日(金) 10:00～12:20

NO	時間割	課題名	所属	発表者
4	10:00 ～ 10:40	道路橋コンクリート床版の土砂化対策に関する調査研究	土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	上仙 靖
5	10:50 ～ 11:30	除雪機械の高度化に関する研究	国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課	小櫃 基住

ポスターセッション

※コアタイム 11月7日(木) 11:50～13:30
発表者がポスター前に待機し、来場者からの質疑に応答致します

NO		課題名	所属	発表者
会場①	1	高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実証～地域のゴミを活力に！！地域エネルギー創出拠点を目標して～	国土技術政策総合研究所下水道研究部下水処理研究室	松橋 学
	2	潜行吸引式排砂管を用いた排砂設備の設計法	国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所 水工研究グループ 水理チーム	宮川 仁
	3	電子基準点の雪害調査	国土地理院 北海道地方測量部 測量課	佐藤 明日花
	4	石岡測地観測局におけるVLBI-GNSSコロケーション測量	国土地理院 測地部 宇宙測地課	松本 紗歩
	5	利用者目線に立ったハザードマップ表現の検討ー液状化リスクの理解向上を目指してー	国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室	遠藤 涼
	6	除雪機械の高度化に関する検討ー準天頂衛星を利用した除雪作業の効率化についてー	北海道開発局 事業振興部 機械課	岸 寛人
	7	積雪寒冷地に適した全天候型常温アスファルト混合物の開発	一般社団法人日本道路建設業協会東北支部	小柴 朋広
	8	霞ヶ浦における特定外来生物「オオパナミズキンバイ」除去の取り組み	関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所 調査課	土佐 拓道
	9	砂防施設点検におけるUAVの活用について	北陸地方整備局 北陸技術事務所 防災・技術課	田嶋 史人
	10	本格運用されたICT浚渫工（河川）における施工履歴データを用いた出来形管理について	中部地方整備局 庄内川河川事務所 工務課	加藤 良太
	11	平成30年7月豪雨におけるTEC-FORCEの取り組み	中国地方整備局 災害対策マネジメント室	斉藤 智彦
会場②	12	備讃瀬戸航路におけるICT技術を活用した浚渫について	四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所 航路管理課	藤井 愛彦
	13	川内川における河道三次元モデルの構築～河川管理CIM導入に向けて～	九州地方整備局 川内川河川事務所 調査課	司城 はんな
	14	首里城公園（御内原エリア等）の開園について	沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 首里出張所	白木 利治

技術センター展示

※ポスターセッション会場②において、技術センター展示も行います

会場②	1	関東維持管理技術センター
	2	関東維持管理技術センター
	3	中部地震津波対策技術センター
	4	九州防災・火山技術センター

国土技術開発賞受賞技術報告Ⅰ

11月7日(木) 10:40～11:10

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	10:40 ～ 10:50	保線におけるモニタリング技術の実用化と維持管理への応用	東日本旅客鉄道株式会社	元好 茂
2	10:50 ～ 11:00	合成桁橋のRC床版取替における急速撤去技術	阪神高速道路株式会社	橋爪 大輔
3	11:00 ～ 11:10	浮標画像追跡システム i-ByTs(アイ・バイツ)	東洋建設株式会社	山野 貴司

国土技術開発賞受賞技術報告Ⅱ

11月7日(木) 10:40～11:10

NO	時間割	課題名	所属	発表者
4	10:40 ～ 10:50	ダムコンクリート自動打設システム	清水建設株式会社 土木総本部 土木技術本部 ダム統括部	山下 哲一
5	10:50 ～ 11:00	プレキャスト床版(ジャケット式)橋橋上部工	株式会社 ヤマウ	生田 泰清
6	11:00 ～ 11:10	繊維補強モルタルによる橋樑鋼管杭の杭頭部補修技術	東亜建設工業株式会社 技術研究開発センター	田中 亮一

国土技術開発賞とは

技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術を表彰するものです。また、中小建設業者、専門工事業者等の創意工夫やアイデアにあふれた技術を、特別賞「創意開発技術賞」として表彰しています。

主催：一般財団法人 国土技術研究センター、一般財団法人 沿岸技術研究センター

後援：国土交通省

建設技術研究開発助成制度成果報告

11月8日(金) 9:30～12:06

NO	時間割	課題名	所属	発表者
1	9:30 ～ 9:43	遠隔地からのリアルタイム計測・管理を実現する世界最小最軽量の高精度3次元レーザースキャナシステムの開発	シナノケンシ株式会社	清水 秀利
2	9:43 ～ 9:56	衛星監視カメラによる広域土砂動態監視手法	アジア航測株式会社	船越 和也
3	9:56 ～ 10:09	非接触音響探査法による外壁調査の効率性向上に関する検討	桐蔭横浜大学大学院・工学研究科	杉本 恒美
4	10:09 ～ 10:22	機械的／電磁的入力での弾性波とコンクリート中鋼材の電磁的応答を統合したPCグラウト非破壊評価手法の開発	大阪大学 大学院工学研究科	鎌田 敏郎
5	10:22 ～ 10:35	道路の日常点検のためのスクリーニング計測システムの開発とそのデータ分析手法の構築	山梨大学	吉田 純司
6	10:35 ～ 10:48	三次元計測と遺跡探査の利用による発掘調査の生産性向上	国立文化財機構奈良文化財研究所	金田 明大
7	10:48 ～ 11:01	AI技術を活用した橋梁劣化要因・健全性判定支援システム	(株)日本海コンサルタント	塩土 圭介
8	11:01 ～ 11:14	斜面对策施設の凍上被害に対する新たなモニタリングシステムの開発	北海学園大学	小野 丘
9	11:14 ～ 11:27	リアルタイム下水道水位・流量モニタリングに基づく内水氾濫危険度評価モデルの開発	パシフィックコンサルタンツ	尾ノ井 達仁
10	11:27 ～ 11:40	建設発生土の有効かつ適正利用促進のためのトレーサビリティシステムの開発	(一財)先端建設技術センター	高野 昇
11	11:40 ～ 11:53	都市防災への活用を目的とした建築物の瞬時被害把握システムの開発	広島大学	日比野 陽
12	11:53 ～ 12:06	標定点無しの高精度測量を可能にするドローン測量技術の開発	岡山大学大学院 環境生命科学研究科	西山 哲

建設技術研究開発助成制度とは

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜き助成する競争的資金制度です。

平成30年度に実施された研究開発等の成果について報告します。